

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第19号 2016年12月 5日 発行

SSH 特別講義③

平成28年11月15日（火）

2学年普通科文系を対象に、本年度3回目のSSH特別講義を11月15日に実施しました。2大学の大学教官3名を迎え、「文学」、「国際」、「社会福祉」の3分野の講義を同時に行いました。生徒はそれぞれ自分の興味関心や進路希望に合わせて、選択した講義を受講しました。講義内容は、普通の授業とは違いレベルの高いものでしたが、生徒は興味深く受講し、有意義な講義となりました。

「J-POPをく読む」

鎌田 学 先生 弘前学院大学教授

西野カナ「涙色」の歌詞から人間の本質である自己欺瞞を検証した。サルトルの実存主義、人間は無であるから変われることを学んだ。



「心理福祉学科で養成している

専門家たちの被災地支援」

家子敦子 先生 仙台白百合女子大学講師

被災地支援で介護福祉士等がどのようなことを行ったかを聞き、これからの高齢化社会で福祉職は欠かせないことを学んだ。



「ディズニーランドをとおして見るアメリカ」

山田 恵 先生 仙台白百合女子大学准教授

ディズニーランドを文化的な視点で考えることで、テーマパークの歴史や存在意義、産業との関連について学んだ。



＜生徒の感想＞

- 哲学の視点から、歌詞をく読むという表面的なものでは感じ取れない心が分り、とても興味を持てた。人間が「無」で満ちているがゆえの変化だと知り、難しい内容だったが核心を突いた講義でとても良かった。
- テマパークの歴史をもとに各地域の違いなど、国際文化についても学ぶことができた。今回の講演会で国際文化や国際心理についてとても興味を湧いた。外国について学んでいくことでより多くの経験ができるのではないかと思った。
- 被災地支援というと、医療のイメージが強かったが、精神面でのサポートが非常に重要であることを学んだ。人それぞれに幸せは違うし、その人が住みやすい環境を作っていかなければならないと思った。今回の講義で福祉士にも興味を湧いた。